

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成28年3月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

未来をイメージすること、少しだけ前に

上田 郁奈代

大阪大学医学部附属病院 医療情報部 兼 医事課 情報処理係 主任

「診療情報管理」という言葉は医療機関ではかなりメジャーになりましたが、私が診療情報管理士という資格を知った頃、インターネットで検索しても2~3件の情報しか出てこず、そのページを隅から隅まで読んだことを懐かしく思い出します。今ではインターネットで「診療情報管理」と検索すると本当に沢山の情報が出てきますので、医療関係者以外でも、ご存じの方が増えてきているかもしれません。

では、皆さんは診療情報管理士の業務をご存知でしょうか。この月報を読まれている方にこのような質問はおかしいと思われるかもしれません。しかし、私が専門学校で非常勤講師をしていたころ、診療情報管理士を目指す学生に同じ質問をしていましたが、「よく分からない」という答えが返ってきたり、かなり不十分なイメージを持っている学生が多く、非常に残念に思いました。

皆さんはご自身が目指している資格がどのようなものなのかを理解されているでしょうか。また、資格取得後にどのような診療情報管理士になりたいか目標は持っていますか？

この15年を振り返っても、平成12年診療情報管理体制加算、平成15年DPC制度導入、平成17年個人情報保護法施行、電子カルテの普及など診療情報管理士を取り巻く環境は大きく変化し続けてきました。お尻の重い私も、好きなことを学ぶ時間は苦にならないもので、各地で開催される勉強会に飛び回り、先輩方に助けられながら様々な経験をし、何とか今も「診療情報管理士です」と言える仕事ができている。

どんな仕事も同じですが、なんとなく時を過ごしては取り残されてしまいます。資格を取得したからといって変身したヒーローのように、突然何でもできるようになるわけではありません。そこからの日々が未来の自分を作ります。

今年度は皆さんにとって充実した日々が過ごせたでしょうか。平成28年度は診療情報管理協会国際連盟(IFHIMA)第18回国際大会が東京で開催される記念すべき年です。近い将来、海外で活躍する診療情報管理士が沢山誕生するかもしれません。

新年度によいスタートが切れるよう、皆さんも新しい目標を持ち、走れるときは力一杯、疲れた時は少し立ち止まり、次への力を蓄えて少しずつ前に進んでいきましょう。ほんの小さな歩みでも気づけば思いもしない未来にたどり着いているものです。

